

News

広島県農地中間管理機構

平成 29 年度第 2 回評価委員会を開催

本年度、第 2 回目となる農地中間管理事業評価委員会が 11 月 9 日 (木) 三原市サギ・セミナーセンター (鷺浦町向田) において、中国四国農政局及び県の担当者の出席をいただき開催されました。機構からの本年度の取組状況の説明後、今後の事業推進について意見交換が行われました。

また、会議終了後は、農地中間管理事業を活用した (株) 広島アグリネットファーム佐木島ファームの現地視察が行われました。

評価委員会の様子



評価委員が現地 (佐木島ファーム) を視察

(株) 広島アグリネットファーム (代表取締役 波木明成) は、広島・山口・岡山各県で食品中心のスーパーマーケットを展開されている (株) フレスタの関連会社として平成 28 年 8 月に設立され、新たに農業参入されました。

農業参入に当たっては、ミニトマトの養液栽培 (アイメック農法) を計画され、気候条件に恵まれた一定の広がりのある農地の確保を前提に、県内各地の候補地から当地を選定されました。

選定された農地は、40 年前までは塩田で客土により造成された農地。1 筆の区画も大きく大規模な施設園芸に適しており、将来的にも隣接した農地への規模拡大も可能です。

農地取得については、平成 28 年 10 月 1.1ha (第 1 期)、平成 29 年 9 月 1.1ha (第 2 期) を 2 回に分け借受け、第 1 期工事とし H29 年度産地育成パワーアップ事業 (国補事業) により施設整備 (ハウス面積 1,500 坪) されました。

8 月のハウス完成後、9 月 5 日から定植。11 月下旬から来年 6 月まで収穫が続きます。年間 50t の収穫量を目指し、来年度の 2 期工事分を含めると年間 100 t の収穫量が予定され、自社グループ以外への販売の外、ASIAGAP の取得後に東南アジア向けの輸出も計画されています。



労働力は、農場長の外、農業技術大学校・農業高校の県内卒業生を新たに社員として採用された外、地元のパートタイマー 7 名を雇用され、地域貢献につながられています。

なお、将来的には、農場の現地生産の状況を見ながら、他品目の生産拡大の外、消費者との交流農園の展開等、地域振興の役割強化も見据えた大きな構想も持たれており、実現が期待されているところです。

29 年 9 月末現在のマッチング実績

99 経営体 291ha (年度末見込 900ha)

(累計: 324 経営体, 2,837ha の転貸実績)

30 年度の事業推進方向 (強化する取組) (素案)

- ① 農業参入・大規模経営体育成との連携
まとまった農地確保と新規就農・規模拡大を希望する経営体へのマッチング推進
- ② 新たな集落営農の仕組づくりとの連携
地域資源管理法入設立による 2 階建の組織づくり、担い手の利用権交換運動の推進
- ③ フリーマッチングによる農地集積の推進
最適化推進委員との連携による借受希望者ニーズにあった農地確保・マッチング推進 (①②に発展する可能性)
- ④ J A 農作業受委託組織との連携, 等

その他

- 農業委員会と農地中間管理機構の連携に係る活動方針
- 各県の動き推進にあたっての事例紹介 (中国四国農政局)

◆ 農地の貸付希望者を随時受付中

随時、農地の貸付希望を募集しています。

→ <http://hsnz.jp/kikou/kashitai.php>